

## 色えんぴつ

## 就大・初等の伝統を創ろう!

初等教育学科長  
北川 歳昭

初等教育学科は開設2年目の新しい学科です。試みは「就大・初等」の伝統になっていきます。皆さんもぜひ学科の伝統作りに参加してください。

本学科は、教育・保育の専門職を育成する学科。子どもたちから「センセイ!」と呼ばれる仕事に就きたい人たちが学ぶ学科です。子どもたちに慕われる、魅力ある人間を目指して、自分を育ててほしいと思います。

魅力ある人間とは、次のような人物像を考えています(アドミッションポリシーより)。

- 子どもが好きで、子どもとのふれあいに喜びを見いだせる人。
- 子どもの幸せのために、知識を広げ、技能を高め、思考を深めることに意欲的な人。
- 人格や発達の多様性を受け入れ、一人ひとりの成長可能性を信じることのできる人。
- 人と人の絆を大切に、人を導いたり支えたりすることに勇気を持って挑戦する人。

あなたは、どうですか。そんな人を目指していますか。

さて、学生生活を送る上での具体的なことを提案します。まず、**挨拶**。挨拶は人間関係の基本です。相手と良い関係になるよう挨拶を心がけましょう。次に、**授業の充実**。高い授業料の元を取るつもりでしっかり学びましょう。第3に、**課外活動やボランティア活動**。自発的・自主的な活動で自分の潜在力を目覚めさせましょう。そして最後に、**目標と計画**。4年間は長いようで短いものです。卒業後の進路を絞り、逆算してその実現のための計画を立てましょう。

卒業時には皆さんの夢が実現するよう、我々教員一同、力を尽くしたいと思います。相談に乗りますのでドアをノックしてみてください。

## 入学にあたって

初等教育学科1年 平岩 由衣

今年度入学してきた新1年生です。4月の入学式で初めてスーツを着用し、小中高とは環境が違うことを実感しました。同時に不安も多い入学式でした。まず不安に思ったのは、友達ができるかどうかでした。しかし、その不安は「研修旅行」というイベントによってなくなりました。また行きたいという声も聞かれるほど、楽しいものになりました。研修旅行以外にも、わからないことがあればすぐに先輩たちが助けてくれて、充実した生活を送ることができています。

現在、入学してから2ヶ月が経ち、やっと大学生活も落ち着いてきました。勉学以外にもサークルや部活

動にも一所懸命励み、4年間で充実させていきたいです。そして、4年後には自分たちの“色”をしっかりと作り上げ、子どもたちと触れ合うときによい刺激を与えられるようになりたいと思います。そのためにも、今からしっかりと将来を描き、キャンパスライフを有意義なものにしていけるよう頑張っていきます。



### 出発

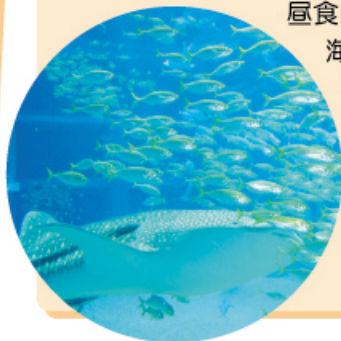


待ちに待った研修旅行。朝早くの集合だったのでみんなテンション低いか？と思いきや、この2日間で友達いっぱい作るぞー！思い出いっぱい作るぞー！と意気込んで元気いっぱいでした。バスの中では、歌をうたったり、みんなで初等教育学科に関するクイズをしたりと、とても盛り上がりました。

### 海遊館



大阪に到着して最初に行ったのは海遊館。その前にみんなで天保山マーケットプレースに立ち寄り、昼食にステーキを食べました。



海遊館はすべてを見切れないほど広く、海の生き物をはじめ、いろんな動物も見ることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。

### レクリエーション



夜はみんなが1週間前からクラスごとに準備して臨んだレクリエーション。学生だけではなく先生も加わってゲームや出し物をしました。クラス発表はそれぞれの持ち味が出ていて楽しく、どのクラスもすばらしい団結力でした。



### 最後に

2日目は大阪市立科学館と国立民族学博物館などを訪れ、プラネタリウムを見たり、世界各国の文化について学んだり、みんな思い思いの時間を過ごすことが出来ました。この2日間は、友達との仲を深めることができ、友達の輪もさらに広げることができました。楽しい時間をみんなで過ごし、就実大学に入学して最初の、そして最高の思い出をつくることができました。



# 就職プロジェクト

2月14日に、就職が決まり卒業間近の先輩を迎えての「就職プロジェクト」がE館で行われました。今回講演してくださったのは、四国学院大学出身の桜森真太郎さん(小学校教諭)、就実短期大学出身の松下恵梨加さん(幼稚園教諭)、就実短期大学出身の久戸瀬陽子さん(保育士[公立])です。

まず、全体で3人の方のお話を聞きました。主に就職に関する内容で、採用試験に臨むにあたっての心構えや、大学での過ごし方など、とても為になるお話でした。各県によって採用試験の傾向が大きく違っていたり、採用者数に大幅な差があるというような話などは、これから小学校教諭、幼稚園教諭、保育士を目指す我々にとって有益な情報であると共に、厳しい現実を目の当たりにするという結果にも……。

講演会終了後、小学校教諭を目指す者のグループと幼稚園教諭・保育士を目指す者のグループに分かれ、それぞれの教室で質疑応答を行いました。それぞれ少人数のグループで先輩方を囲み、和やかな雰囲気の中、普段あまり聞くことのできない試験・面接の現場の話や、我々の質問に対しての先輩方の経験に基づいた考え・意見を教えていただきました。



初等教育学会  
設立

平成20年2月19日に  
初等教育学会を設立し、総会ならびに  
記念講演会を開催しました。

## 初等教育学会設立記念講演会を聞いて

初等教育学科2年 高野 昌幸

平成20年2月19日に就実大学・初等教育学会設立記念講演会が行われました。講師に岡山市立福浜小学校校長角田みどり先生をお招きしました。今回の講演会のタイトルは「愛と微笑の長い道のり」という非常にインパクトの強いものでした。講演会では、新しい教育の流れや角田先生が出会った心に残る子どもたちのことや子どもを取り巻く環境の変化、角田先生が考える理想の教師像など、とてもたくさんのお話をうかがいました。以下に私が印象深く感じたA子さんのエピソードを紹介します。



講演会

A子さんは小学5年生の頃、髪の毛が茶色く、授業も真面目に受けず、友人もいなかったそうです。学校でもかなり目立ったA子さんを担任することになった角田先生は、A子さんが人としての生き方を取り戻すために全精力をかけて彼女にぶつかりました。化粧してくればすぐに落とし、休み時間になれば喫煙しないように目を離さないようにするなどして彼女に人一倍気を配りました。学力不足も問題だったのでA子さんの家に何度も家庭訪問を



総会

して基礎的な知識や学力を付けさせるために努めてきたそうです。次第に態度も良くなり学級にも溶け込むことができたA子さんは卒業式の日、仲間と抱き合って別れを惜しんだそうです。

教育の営みの中で子どもや親と真剣に向き合えば、目を背けたいくなるような苦しい現実もあると思います。それでも角田先生は逃げ出さず一人の人間の生き方を変えました。それは並々ならぬ努力だったと思います。先生は講演中、「子どもを愛しなさい」「子どもを抱きしめてあげなさい」と何度もおっしゃっていました。角田先生の教育に対する情熱と子どもへの愛を強く感じ、本当に子どものことを愛することが教育の真髄であると学びました。



学生運営委員

角田先生(左)と  
学会事務局長  
赤坂先生(右)

## 初等教育学会の今後の予定

7月5日(土)14時から、本城式英会話で話題の本城武則氏の講演会を開催いたします。

## 小学校教諭

「一般教養と教育教養、どちらに重きをおいているか調べておかなければ大変なことになる。」

「教養科目も実技も人並みであれば、あとは人柄が重要である。」

など、採用試験を受けるにあたって、試験について調べつくした先輩の情報には、私たちにとって為になるものばかりでした。先輩方の助言に注意しながら、教育界に求められる人材になれるよう、日々邁進していきたいと思えます。



## 幼稚園教諭・保育士

幼稚園教諭、保育士を志すメンバーは、4つのグループに分かれ、4人の卒業生の方に質問に答えていただきました。

「やはりボランティアなどには参加した方がいいですか?」

「ピアノがまだ全然弾けなくても大丈夫ですか?」

といった質問に分かりやすくアドバイスしていただき、幼稚園教諭、保育士になる上での心得や、大切なことを学びました。そしてさらに、「幼稚園教諭、保育士になりたい!」という気持ちが大きくなりました。





# 魚プログラム

平成20年2月20日～22日、就実大学・初等教育学科の本田真美先生が公立S小学校で5年生(80人)を対象に食育の一環として実施された『魚プログラム』(瀬戸内海でとれた丸ごとの魚を教材にした教育プログラム)に、初等教育学科の学生ボランティア(9名)が参加しました。

私たち学生ボランティアは、児童に魚に興味をもってもらうためにいくつかの魚についてのクイズを作って実施しました。また、児童が鱭のムニエルを作る補助なども行いました。

児童たちの感想

- 「もっと瀬戸内海の魚について知りたい」
- 「私たちは魚などの生き物の命をいただいて生きているのだと勉強になった」
- 「学生ボランティアのクイズがおもしろかった」
- 「わからなかったときに学生の方が優しく教えてくれてうれしかった」

このプログラムに学生ボランティアとして参加したことで、魚についての知識が増えたとともに、子どもたちと魚の授業を通してふれあうことができ、楽しい経験となりました。



# SYOTO NEWS 2008



## ●「第1回初等教育学科大運動会」開催

さる6月7日(土)に、初等教育学科1・2年生の交流を目的とした運動会が開催されました。学科初の交流行事で、大いに盛り上がりました。その模様は次号に掲載しますので、楽しみに。

## ●教員の活躍(宗高弘子先生 全国保育士養成協議会から教職員表彰)

宗高先生が、全国保育士養成協議会より、平成19年度永年勤続教職員・会長表彰者に選ばれました。この表彰は、長年にわたり保育士養成に多大な貢献をした教職員に贈られるものです。

## 教員著書の紹介

### <門松良子先生・北川歳昭先生 執筆>

井戸和秀編著『「子育て・子育て」の心理学』

チャイルド本社、2008年6月発行

子どもの言動から保育のあり方を考える保育書です。プロとして現場に立っている保育者はもちろん、保育者を目指している学生の方のテキストとしても最適です。また、いま子育てをしている方にも役立ちます。

### <古山典子先生 執筆>

今川恭子ほか監修『おんがくのしくみ』

教育芸術社、2008年6月発行

実際に体験しながら音楽の仕組みがわかる、画期的な音楽理論書です。教員や保育士を目指している学生をはじめ、音楽に興味のあるすべての方にとって、楽しく音楽を学べるテキストになっています。

# 私のオススメ 絵本



ある日、書店を何気なく歩いていると、ポップに描かれた恐竜が表紙の絵本に目が留まりました。『おまえ うまそうだな』という物騒なタイトルから、「よくある恐竜の弱肉強食を描いた作品かな?」と思い、内容を確かめるべくその絵本を手にとって読んでみることにしました。ティラノサウルスがアンキロサウルスの赤ちゃんを見つけて、「おまえ うまそうだな……」と言って飛びかかろうとしたとき、「おとうさーん!」としがみつくとアンキロサウルス……。物騒だなんてとんでもない! 実に内容の深い感動絵本でした。なんとも切ないクライマックスを読み終えたとき、涙を流していることに気づきました。立ち読みして泣いたのは初めてです(笑)。子どもだけでなく、読み聞かせをする大人も一緒に成長することのできる、心温まる物語だと思います。

初等教育学科2年 池田 康輔



# 編集後記

「初等教育だより 色えんぴつ」第3号をお届けします。今回は初等教育学科2期生も加わり、ますます楽しい内容になっております。1年生と2年生が協力してつくりましたので是非ご覧下さい。

学生編集委員

1年生 布川千都、日高聡美、平岩由衣  
2年生 池田康輔、奥野沙也佳、尾藤恵理子、加藤秀行、小林啓人、高野昌幸、田中徹哉、山田高良

教員編集委員

古山典子、棚田真由美

